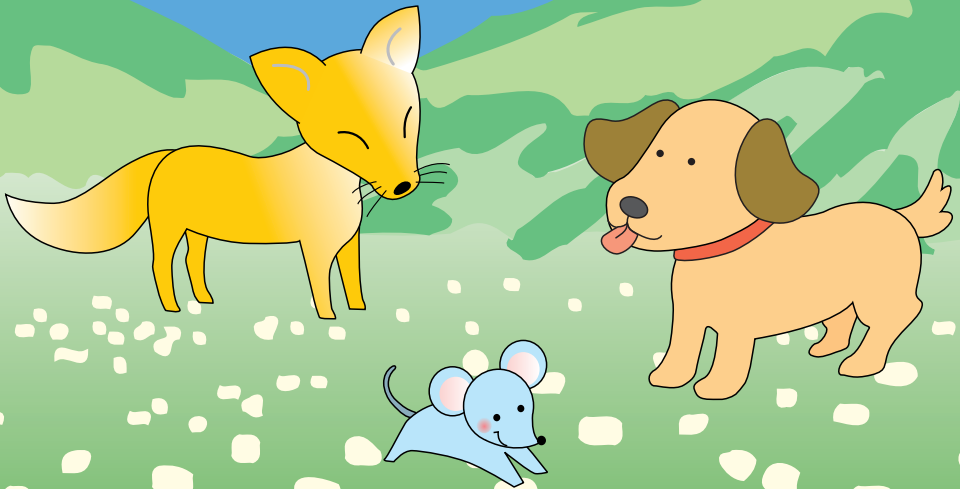


どうぶつ ゆらいかんせんしょう
動物由来感染症

エキノコックス症

かからないための

Q & A



北海道保健福祉部



目次

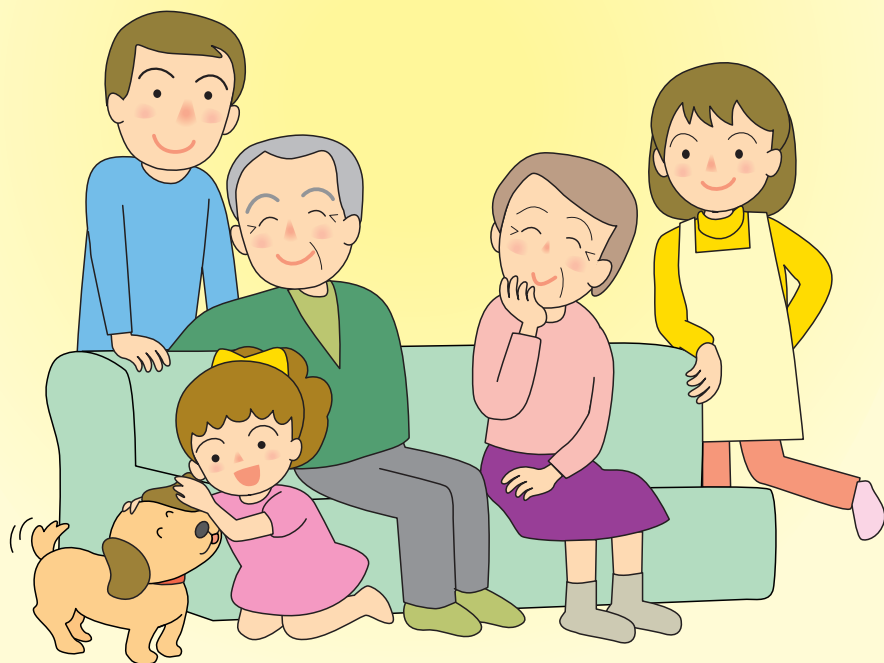
エキノコックス症を予防するために、 正しい知識を身につけましょう	1
エキノコックス症Q&A	2
Q1 エキノコックス症ってなに？	2
Q2 どのように人に感染するの？	3
Q3 どうすれば感染を予防できるの？	4
Q4 エキノコックス症ってどんな病気？	6
Q5 自覚症状はありますか？	7
Q6 どうすれば治るんですか？	8
Q7 検診はどこでやっているの？	9
Q8 どんな対策をしていますか？	10
Q9 イヌもエキノコックスに感染するの？	11
参考資料	12

エキノコックス症を予防するために、 正しい知識を身につけましょう。

北海道には、エキノコックス症という他の都府県ではあまり見られない病気があります。この病気は、エキノコックスという名前の寄生虫が主に肝臓に寄生しておこる病気で、道内では毎年20名前後の患者が見つかっています。

わたしたちはエキノコックス症について正しい知識を身につけ、感染予防に留意するとともに定期的に検診を受けることが大切です。

この冊子は、エキノコックス症の感染経路や日常生活の中での予防方法、検診などについて、わかりやすく解説しています。どうぞ、あなたとあなたの家族の健康づくりにお役立てください。



Q1 エキノコックス症って、なあに？

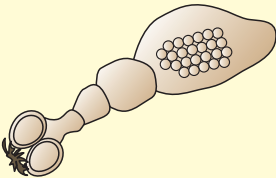


A. エキノコックスは寄生虫の一種です。この寄生虫にはいくつかの種類がありますが、北海道のエキノコックスは、多糸条虫と呼ばれるものです。成虫世代と幼虫世代があり、成虫はキツネやイヌに、幼虫は野ネズミに寄生します。成虫は卵をつくり、その卵が人の口に入ると腸で孵化し、幼虫となりますが、幼虫は主に肝臓で発育し病巣を形成します。これがエキノコックス症を引き起こします。しかし、正しい知識があれば感染を防ぐことができます。

エキノコックス

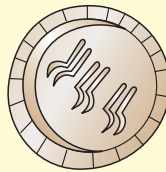
ふつう自然界ではキツネと野ネズミに寄生しています。

成虫



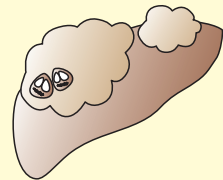
成虫は体長4mmほどの細長い白い虫です。キツネの小腸に寄生して卵を作り、キツネのフンとともに卵を外に出します。

卵



卵は直径0.03mmの球形で、肉眼では見えません。卵がついたもの(草など)を野ネズミが食べると肝臓で幼虫になります。

幼虫



幼虫は袋のような形をしており、どんどん大きくなります。幼虫の寄生した野ネズミをキツネが食べると、キツネの腸のなかで幼虫は成虫になります。

エキノコックスが寄生する動物

成虫と幼虫が寄生できる動物は、それぞれ決まっています。ネズミ類や人、ブタの体内の幼虫は成虫になることはなく、卵を作ることもないので、これらの動物どうしでは感染は起こりません。

成虫が寄生する動物

▼
キツネ・犬など

幼虫が寄生する動物

▼
野ネズミ・人・ブタなど

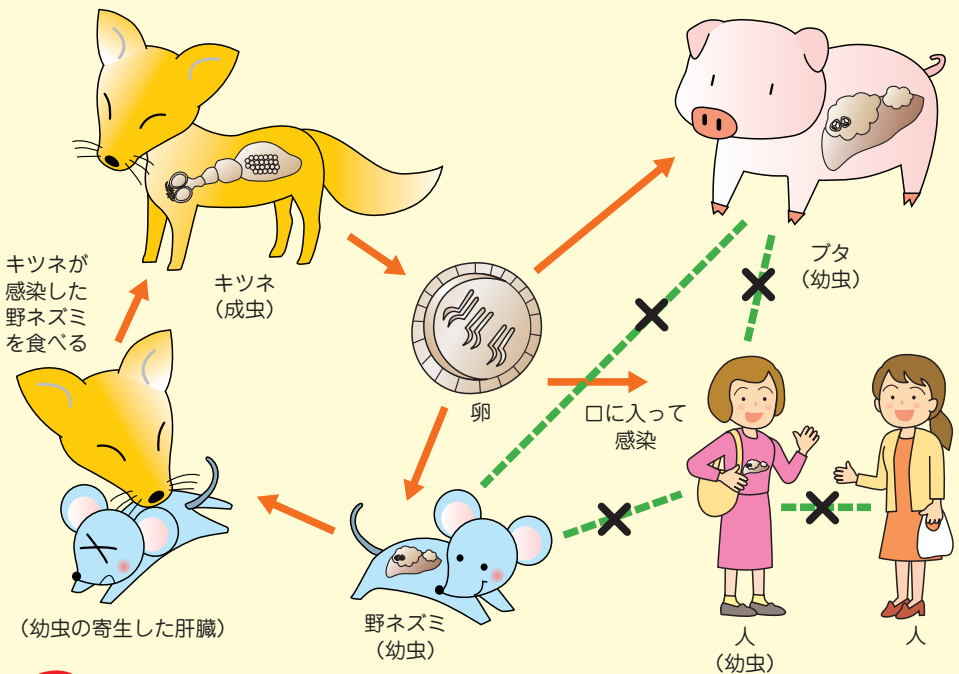
Q2 どのように人に感染するの？

A. エキノコックスの卵が口に入ってしまった場合に感染することがあります。エキノコックスが寄生したキツネやそのフンに直接さわったり、フンに汚染された山菜や沢水を口にするると感染の危険があります。人から人や、ブタや野ネズミから人に直接感染することはありません。



エキノコックスの寄生サイクル

— 感染する
- - - 感染しない



注意



イヌもエキノコックスの幼虫が寄生した野ネズミを食べるとキツネと同じように、成虫が寄生することがあります。

Q3 どうすれば感染を予防できるの？



A. エキノコックスの卵が口に入らないようにすることが大切です。人家の周囲にキツネを近づけないよう、生ゴミなどキツネのえさになるものの管理に気をつけましょう。また、井戸水にキツネのフンや汚染水が入らないように、ふたをするなど管理をしっかりしましょう。

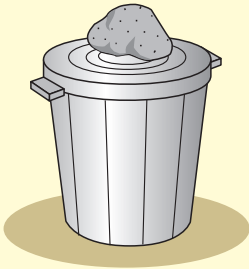
◎予防のために大切なこと



外から帰ったら必ず手をよく洗いましょう。



野山の果実や山菜などを口にする場合は、良く洗うか十分熱を加えてから食べましょう。



キツネを人家に近づけないよう生ゴミ、飼イヌのえさの食べ残しなどキツネのえさになるものはきちんと保管し処分しましょう。

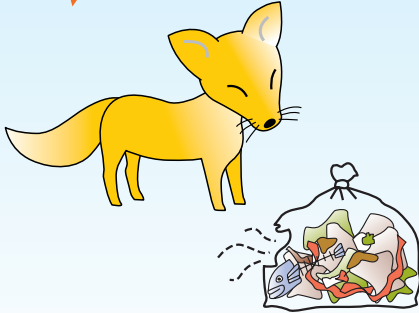
エキノコックスの卵はマイナス20度くらいの低温では死にませんが、熱には弱く、煮沸すれば確実にこの卵を殺すことができます。(卵は100度で1分間の加熱で死滅します。)

注目

卵が体内に入った直後は、検査をしてもわからないので、まずは予防第一

してはダメ!

次のことに
心がけましょう



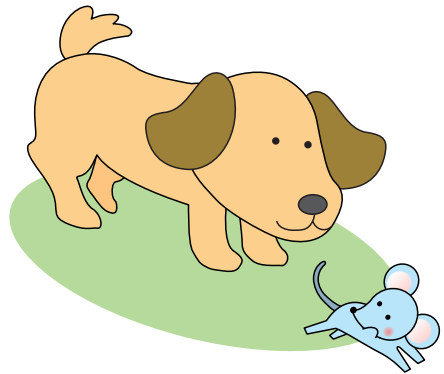
キツネのえさになる残飯や生ゴミ、イヌのエサを放置しないようにしましょう。(キツネを人家周辺に近づけないために。)



可愛いからといってキツネを餌づけしたり、呼び寄せたり、手で触れることは絶対にやめましょう。(キツネの体毛に卵がついていることがあります。)



沢水や小川などの生水を飲む場合は、煮沸してから飲むようにしましょう。



イヌが野ネズミをつかまえて食べないように、放し飼いは絶対にやめましょう。また、口移しでエサを与えたりスプーンやハシの共用はやめましょう。

Q4 エキノコックス症ってどんな病気？



A. エキノコックスが体内（主に肝臓）に寄生して起こる病気で、四類感染症に指定されています。日本では北海道に多く見られる感染症です。感染率は他の病気に比べて高くはありませんが、感染してから自覚症状が出るまでに数年から十数年かかり、気がつかないうちに悪化してしまうことが多い病気です。

感染

卵が体内で幼虫になり寄生。

第一期（潜伏期）

- 数年から10数年位無症状の時期が続きます。
- 肝機能は正常域です。
- 血清検査でしばしば陽性。
- 腹部超音波検査、CT検査などで肝臓の病巣が認められます。

第二期（進行期）

- 5年から10数年位経過。
- 初めのうち、肝機能は正常域です。
- 肝腫大に伴う上腹部の膨満・不快感などの不定症状がでます。

第三期（完成期）

- 肝機能の障害がおこります。腹部症状の増強、発熱、黄疸などの症状がでます。

早期発見・早期治療が大切です

エキノコックス症は、放っておくとだんだん悪化して命にかかわることもありますので早期に発見することが大切です。少なくとも5年に一度は血清検査を受けて、感染していないことを確かめておくといよいでしょう。



Q5 自覚症状はありますか？

A. エキノコックス症は、主に肝臓の病気なので、進行するにつれて肝機能障害に伴う疲れやすさ、上腹部、肝臓あたりの不快感、黄疸などの症状を現します。自覚症状が出る頃には病気が悪化している可能性がありますので、健康診断で早めに発見することが大切です。



エキノコックス症の主な症状



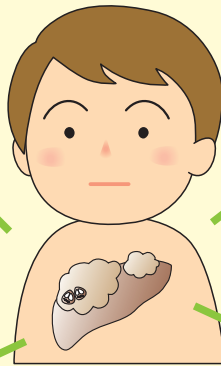
●疲れやすい



●黄疸



●上腹部、肝臓あたりの不快感

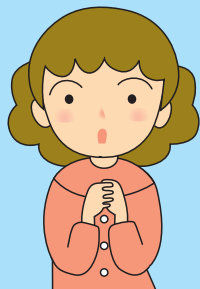


●腹水
●浮腫
●発熱



●上腹部の膨満感

Q6 どうすれば治るんですか？



A. エキノコックス症の治療方法としては薬物治療もありますが、現在のところ、根治するためには、手術で切除するしかありません。エキノコックス症はなによりも早期に発見し、早期に治療を行うことが大切で、そのことにより完全に治すことができます。



早期発見のために



検診について…

ハイ

一次検診

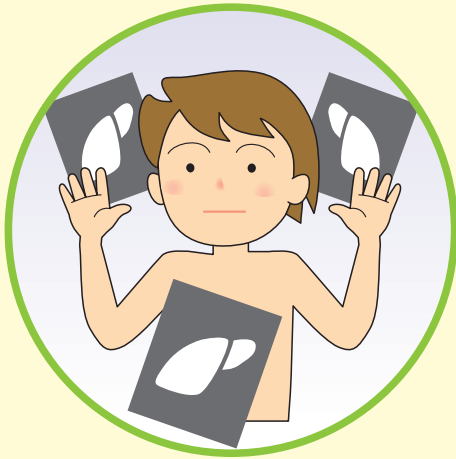
- 市町村が実施します。
- 血清検査 (ELISA法) を行います。
- 対象者は小学3年生以上で、5年以上検診を受けていない方です。
- 対象地区などは、市町村が定めます。



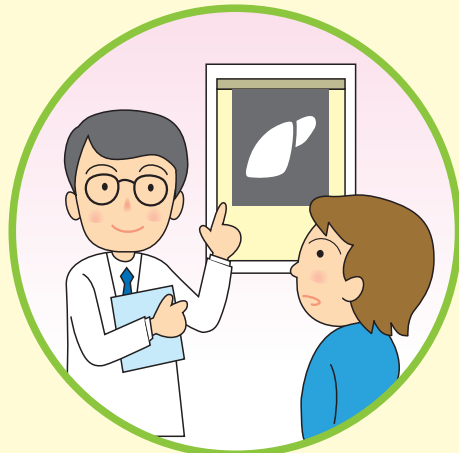
一次検診は、お住まいの市町村の検診日程を確認の上、定期的に受診しましょう。

Q7 検診はどこでやっているの？

- A.** 北海道では、一次検診は市町村が行っています。一次検診で感染の可能性があった場合には、二次検診を受けていただきます。二次検診は北海道が行っています。道内の方は、お住まいの市町村、または最寄りの保健所にお問い合わせください。



一次検診や二次検診の結果は受診者に伝えられ、感染している疑いがある場合は、精密検査を受けることになります。



二次検診

- 北海道が実施します。
- 超音波診断や血清検査（WB法）などを行います。
- 対象者は一次検診の血清検査で陽性あるいは疑陽性であった方です。

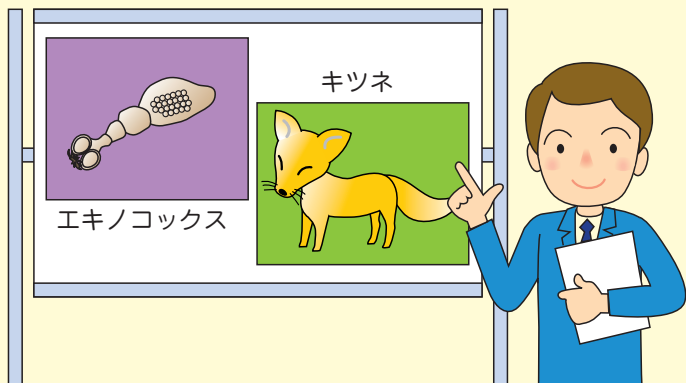
Q8 どんな対策をしていますか？

- A. 私たちは、エキノコックス症の主な感染源であるキツネとは、互いの生活圏に一定の距離を保ちながら「共存を図る」ことを基本としています。
- そのうえで市町村が中心となって、保健所など関係機関との連携のもとに、感染予防の対策を実施しています。



◎キツネについての主な対策

1. エキノコックス症に関する正しい知識の普及啓発を行っています。
2. キツネに餌を与えないなどの衛生教育を行っています。
3. キツネを人の生活環境に近づけないために、キツネのえさとなる生ゴミなどの管理の徹底を図っています。
4. キツネが人家周辺に出没している場合、その原因を調査し、原因が判明した場合は、その除去をすすめます。
5. 井戸水にキツネのフンが入らないように施設の調査や改善指導を行っています。
6. 畜産業や水産業などから排出される動物性廃棄物の適正管理の徹底を図っています。



Q9 イヌもエキノコックスに感染するの？

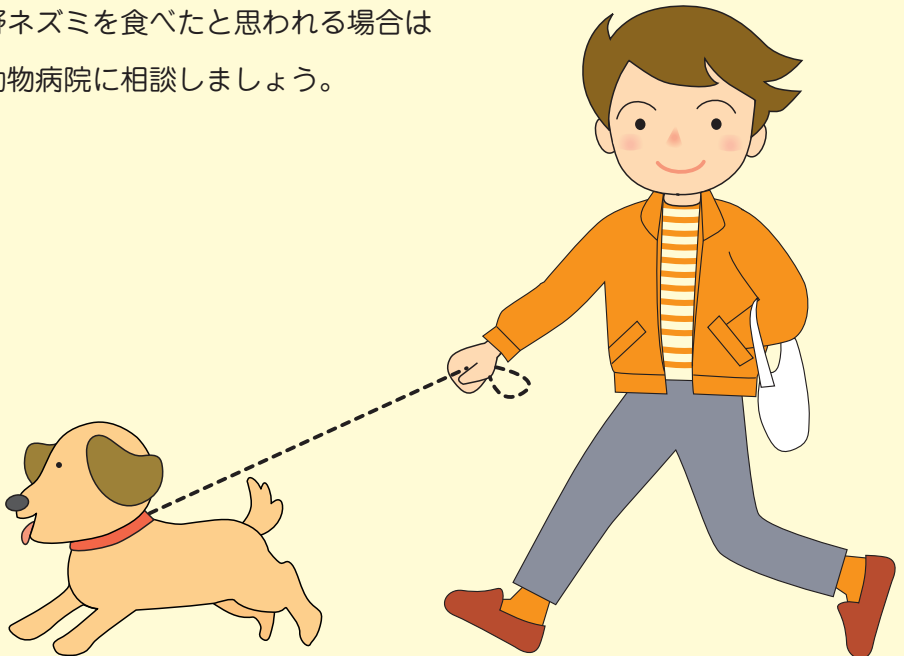


A. イヌも野ネズミを食べることがあります。その野ネズミがエキノコックスに感染していると食べたイヌも感染します。感染したイヌは、フンと一緒に卵を排泄するので、ヒトへ感染させる可能性があります。

動物病院では、ペットのエキノコックス症の検査ができます。また、イヌが感染した場合には、駆虫薬により治療することも可能です。

愛犬がエキノコックスに感染しないために

- 放し飼いはやめましょう。
- 散歩中に公園、野原、キャンプ場などで放さないようにしましょう。
- 散歩中に拾い食いをさせないようにしましょう。
- 野ネズミを食べたと思われる場合は動物病院に相談しましょう。

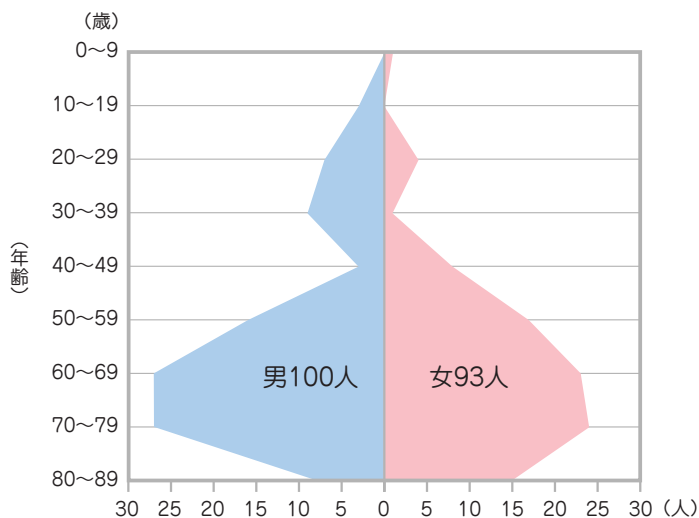


参考資料

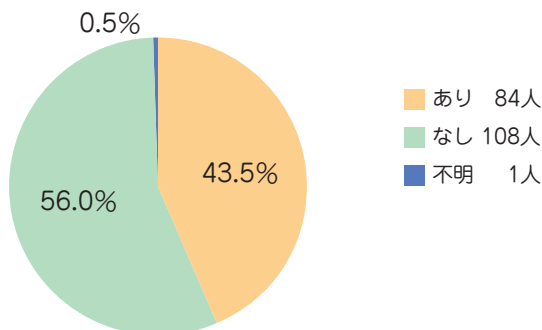
北海道では毎年20名前後の患者さんが発見されています。

この資料は、平成15年から平成24年の10年間に発見された193名の患者さんに関する情報を統計資料としてまとめたものです。

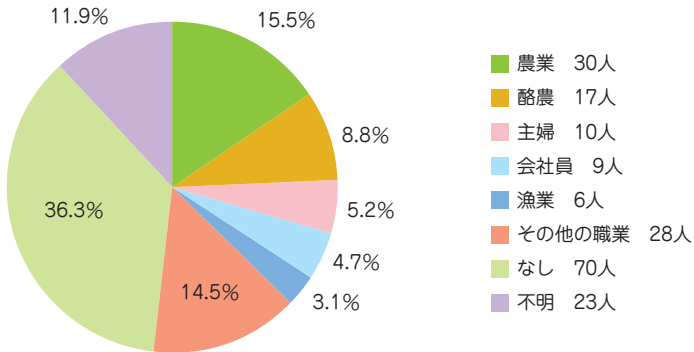
● 発見時の年齢と性別 あらゆる年代で発見されています。男女の差もあまりありません。



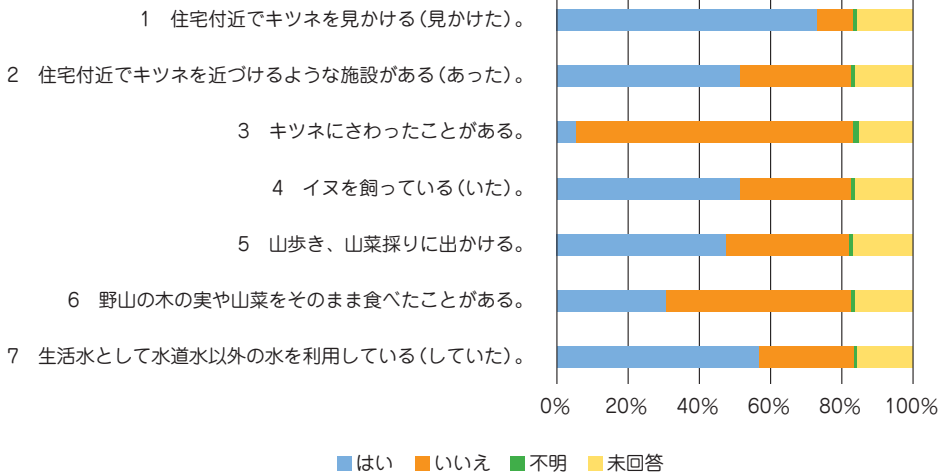
● 自覚症状の有無 半分以上の人が自覚症状がありませんでした。



● **職業** 農業など、外のお仕事の方が多い傾向にあります。



● **生活状況**



(資料提供：北海道立衛生研究所)

エキノコックスに関するご相談は
各市町村または最寄りの保健所へ